

平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	32	学校名	吉野高等学校
----	----	-----	--------

1 取組名 筏づくりイベント

2 活動内容

平成28年12月10日（土）、吉野高校生で構成される「よしの調査隊」が主催し、地元地域の住民と共に”筏づくり”を協働して作製し、吉野川に流した。地元の製材所の方が木材競り市で落札した筏材（直径約40cm長さ3mの吉野スギ）を7本使って、当日朝から“筏”を作製し、短距離ながらも生徒が乗った筏を流した。

地元の活性化を願う人々も作製に協力し、約1時間で完成した。このイベントを通して「よしの調査隊」のメンバーは、普段では交わることが少ない一般の方と、同じ目的の下、コミュニケーションを取り、協働しながらイベントをやり遂げた。このイベントは、今春に、吉野高校の近隣の吉野川沿いに簡易宿泊施設の「吉野杉の家」が新設オープンすることもあり、その時期に合わせてさらに大きな筏流しを行う計画があり、その予行を兼ねて行った。

筏の作製は、7本中の5本のスギの上下部分でロープを使いしっかりと互い違いに結んで合体させた。ロープで合体させることで、ある程度の揺れに対応させることができた。また、鉄製のかすがいを数カ所に打ち込み、合体強度を上げることができた。また、そのかすがいに別のロープを結び、乗り手以外の生徒がロープを持つことで過剰に筏が流れることを防いだ。当日は、12月であったが、温暖な気候で無事にイベントを終えることができた。

3 成果と課題

生徒は、地元地域の人たちと同じ作業を協働して行い、地域の地域活性化のために実際に身体を使って実践したことで、今まで以上に吉野地域との関わりを実感した様子であった。その後の生徒の反応を見ると、他の行事に参加しようとする姿勢が現れる等、地元地域に対する意識の高揚が見られた。

<生徒の感想（1年生男子）>

筏を作るのは全く初めてでした。テレビ等で見たことがありましたが、実際に作ると意外と小さいこともあって、何とか作れました。一人浮くので精一杯でしたが、うまく流れたし、やっぱり自分たちで作ったものが完成すると「やった〜！」と思わず声をあげてしまいました。地域の方々からも、気軽に話しかけていただき、吉野高校と地元地域とのつながりを強いことを改めて実感しました。

